～市民と農業者をつなぐ
武蔵野市農業委員会だより～

むさし農

第19号　令和４年10月
編集・発行　武蔵野市農業委員会
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
Tel　0422-60-1833（直通）
Fax　0422-51-9408（直通）

令和４年度夏野菜品評会・即売会



▲左から田中農業委員会会長職務代理者、市長賞受賞の坂本さん、松下市長、榎本農業委員会会長

７月４日に 10 回目を迎えた夏野菜品評会。今年は梅雨明けが早く、６月から炎天下が続き、作物の生育が心配されていましたが、17 名から 38 点の出品がありました。当日は、審査員から細かな講評をいただきました。

８月２日には表彰式も行われ、農業者の意欲の向上に繋がるイベントとなりました。

６月から７月中旬にかけて、JA 東京むさし武蔵野地区青壮年部による即売会も、市役所前で行われました。

行列ができるほどたくさんの市民の方にお越しいただき、新鮮な農産物をお届けできました。



武蔵野市長賞	坂本　和人（関前）	トマト（麗月）
武蔵野市農業委員会会長賞	井口　義一（関前）	とうもろこし（ドルチェドリーム）
東京むさし農業協同組合長賞	髙橋　政孝（境西部）	ナス（千両２号）
武蔵野市議会議長賞	髙橋　嘉晴（境西部）	枝豆（湯上がり娘）
武蔵野商工会議所会頭賞	髙橋　政孝（境西部）	キュウリ（VR 夏すずみ）

（敬称略）

農産物品評会・CO+LAB MUSASHINO





農産物品評会は、農業者の栽培技術の向上と市内農業の PR を目的に実施している事業です。秋の品評会は、コロナ禍で２年間開催を見送っていましたが、今年は場所を変えて開催することとなりました。当日は、農業者が手塩にかけて育てた旬の野菜・果物・花の展示や即売会を行う予定です。

また、今年から CO+LAB MUSASHINO(コラボむさしの) も始まります。CO=Company・Co、LAB=Laboratry の頭文字から取ったこの事業は、市内事業者同士が共に新たな企画に挑戦する取組みです。今年のテーマは『食と農のおいしい出会い』。当日は、農業者と飲食店が開発する市内農産物を使用した商品が、キッチンカー等で提供されます。

11 月 13 日（日）都立武蔵野中央公園で開催。たくさんの方のご来場お待ちしています！

都 GAP で感謝状



▲市長公室にて

榎本一宏さんは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、平成 31 年にコマツナで東京都 GAP 認証を取得しました。

GAP は「農業生産工程管理」と呼ばれ、食品安全・環境保全・労働安全等の持続可能性を確保するための取組みです。

榎本さんは、市内で認証を受けている唯一の農業者で、生産したコマツナを選手村に提供し、JA 東京中央会から本年３月に感謝状が贈られました。

今後も安全・安心な都市農業の牽引者として、ご活躍を期待しています。

市内３例目の生産緑地賃借開始



▲本当の親子のようにとても仲良しです！

本年２月より、新たな生産緑地の賃借が始まりました。

中村繁さんは、腰を痛め、思うように農作業ができなくなり、市・JA・東京都に相談しました。その結果、東京農業アカデミーで２年間研修を受けた、第１期卒業生の新規就農者である鈴木茜さんと繋がりました。

かつて父・富男さんと共に直売を行い、当時は行列ができるほど盛況でした。今回の賃借により、再び直売所が復活し、人が戻ってきたことがとても嬉しいと語っていました。

また、「鈴木さんは、自分の年代では思いつかない媒体を使って PR したり、情報交換できたりするのは本当にすごい」「この制度をたくさんの方に知ってもらって、ぜひ活用してもらいたい」とも話してくれました。

借り手の鈴木さんも、珍しい品目の作付や直売等、ご自身の経験を生かしながら様々なことに奮闘中。今後の成長が楽しみです。

お二人の活躍に期待します！



真っ赤な直売所は地域で大人気▶

第 55 回内田農業振興会　功労章



▲賞状を受け取る大坂さん

大坂新一さんは、長年にわたり農業に従事し、東京農業の発展・振興・農業組合活動に多大な貢献をされました。この度、その功績が認められ、（公財）内田農業振興会の農業功労者表彰（緑緩功労章）を受章されました。

大坂さんは「定年のない仕事なのでこれからもしっかり頑張っていきたい」と意気込みを語ってくれました。

関前南小２年生の農家見学



▲緑肥を埋め込み中

６月 24 日、69 名の児童が生活科で「気付き」を学ぶため、農家見学会に参加しました。

皆さんは、５月下旬から、榎本一史さんの指導の下、学校でミニトマト・ピーマン・なすのいずれかを鉢植えにて栽培してきました。

当日は、普段近くで見る機会のないトラクターや播種機（はしゅき）の説明を受けた後、実際の圃場（ほじょう）で自分たちが栽培している野菜を中心に見学をしました。

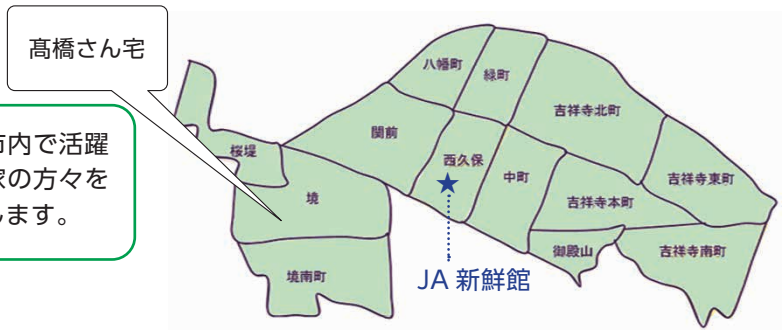
最後は、緑肥の埋め込み作業を楽しそうに取り組んでいました。

「新鮮で安全・安心な野菜はすぐそばに」 生産者の笑顔



実（みのり）さん

武蔵野市内で活躍する農家の方々をご紹介します。





豊（ゆたか）さん

髙橋　義一さん（境５丁目在住）



▲色とりどりのスターチスに囲まれて

30 歳で跡を継ぎ、現在に至っています。就農後、東京カジュアルフラワー研究会で学び、切花を初めました。

畑に水道を引き、今は切花 30 種類、果樹５種類・野菜 10 種類を生産しています（面積の半分と売上の半分は花で占めています）。

皆さん、ジャーマンアイリス、スターチス、リアトリス、カンパニュラ、アスター、ルリ玉アザミ、アガパンサス、アグロステンマ、帝王貝細工、いくつ想像できますか？宿根・球根・挿し木・種と栽培方法は色々ですが、それも楽しいです。

野菜の収穫は早朝の４時頃、切花は前日の夕方に切って水揚げをさせ、翌日に新鮮館へ出荷する毎日です。多くの人に花の種類を覚えて欲しいと思い、名前シールを貼っています。子どもたちの生け花体験や「武蔵野市小・中学校の面積と農地面積はどちらが広いか？」「瓶の中の種は何粒入っているか？」等のクイズも大変好評でした。今後も色々な花を育てていきたいと思っています。

ハウス内では、霜よけ栽培でインカのめざめ、平さやいんげん、冬に向けての菊も栽培中です。

お 知 ら せ

農業委員を募集

令和５年７月 20 日から、新たな農業委員を募集します。任期は３年間です。

詳細は、令和５年３月１日号市報や HP 等でお知らせします（予定）。

女性や 50 歳未満の方のご応募もお待ちしています。

農業者年金に加入しませんか？

すべてに該当する方は、当制度で大きなメリットを受けられる可能性があります。

◆年間 60 日以上農業に従事している
◆ 20 歳以上 60 歳未満である
◆国民年金第１号被保険者である

詳細は、農業委員会事務局（☎ 60-1833 へ）。

編集後記

むさし「農」第 19 号発刊にあたり、関係者各位にご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

長年続いた“青空市”が“CO+LAB MUSASHINO”に形を変えて、最初のテーマが「食と農」、その中で開催される農産物品評会も一段と熱が入っております。ご期待ください！

スマホで検索

農業委員会だよりはこちら↓

直売所マップはこちら↓

食を育む。むさしのはこちら↓